

ASEAN グローバルプログラム に参加して

矢野 玲奈
Reina YANO
物質化学科 2年

1. はじめに

ASEAN グローバルプログラムに参加し、多くのことを感じた。このプログラムでは多くのアクティビティが用意されていたが、今回の活動報告では、そのうちのうち9月2日(日)のWASABI CREATION社のトン氏の「シンガポールやグローバル社会について」の講演会、および9月4日(火)のGoogle社の企業訪問と講演会について報告する。これらのプログラム中で、実際に海外(シンガポール)で働く方々のお話や世界の第一線で活躍する会社のお話はとても新鮮であった。

2. 参加目的

私がこのASEAN グローバルプロジェクトに参加した目的としては、主に二つある。まず一つ目には外国という日本とは全く考え方の違う場所に身をおくことで、多様な価値観に触れ理解したいと思ったことである。このプロジェクト全体を通じて単に旅行に行くだけでは味わうことのできない、ベトナム人との深い交流や、実際に異国の地で働いてその環境に触れているビジネスパーソンの方のお話は私のこの目的に合っており、大いに期待した。もう一つの目的としては、グローバル化が激しく進んでいるこの社会で自分が海外に行く機会がやっとならないとは限らないが、今は海外で働くことに全く想像がつかないが、その想像をより現実的にしやすくする事であった。その為に、実際に海外で働いているビジネスパーソンのお考えや働き方を知りたいとも考えていた。この報告でシンガポールのWASABI CREATION社とGoogle社でのアクティビティについて述べるのは、この2つ目の目的に特に関係している

ためである。

2.1 WASABI Creation 社での学び

日本に留学経験もあるトン社長からお話を聞くことができた。WASABI Creation社は、日本企業がシンガポールに進出することをサポートしている会社である。ここではシンガポールという国についてとグローバルな人材となるにはという2点をお話して下さった。

シンガポールには日本からだけではなく、世界中の国から多くの企業が進出している。シンガポールの概要について聞いてみると、「シンガポールの誓い」というものがあることが分かった。これは多民族国家であるシンガポールが、マレーシアから独立する際に「人種や言語宗教によらず社会を築く」という内容の誓いを立てたというものであった。それぞれの民族で固まって集団を作るのではなく、それぞれを認め合い、少なくとも物理的に(つまり住居などが)融合し、差別の無い環境をつくったことのであった。私はこれが、シンガポールが多く進出している鍵になっていると感じた。GDPが高いことや所得が高いこと法人税を下げたことが、企業にとって1番の理由にくると思われるが、「シンガポールの誓い」に基づく考え方は他国籍の人が商売をしたり住むにあたって心地よい環境を作り、この国を成長させたのではないかと考えた。

グローバル化しているこの社会で、個々人がグローバルに成長するために何を成すべきと考えているかについても教えて頂けた。それはまず、チャンスを見つけるということであった。常に意識を高く持ち、アンテナを張り、情報を沢山集めることで、チャンスも見つかりやすくなるということだった。これは意識を変えることが必要だと感じた。今までの私は自分が海外「なんて」と思っていた。まず、その考え方が誤っていると感じた。「私なんて」と思っているうちにはチャンスは来ない。「私が」と意識を変えることが必要であると学んだ。

私は、家族と共に海外旅行に行くことが多くあ

る。そこで、海外の文化などを深く知りたいと思っ
ていても、表面的なことしか知り得ていないと感じ
ていた。歴史や観光地の情報は簡単に知れるが、国
民の考え方や生活感をもっと感じたいと思ってい
た。トン氏の話にもあったが、海外に行き、日本を
客観的に見つめ直すことも必要だということに繋が
ると感じた。現地の方々とのコミュニケーションを
通じて何に関心があるのか、どこに価値を感じてい
るのか、日本との違いは何か、それはどうしてかと
突き詰めていけば深いコミュニケーションができる
と感じた。実際に今回の研修中にこのことを思い出
し、今までよりも1歩踏み込んだ考えや得るものが
多くあった。

2.2 Google 社での学び

Google 社へ企業訪問をした際の最初の感情は
「驚き」だった。確かに訪問する前も Google 社は
世界的だし、有名だし、私自身もユーザーであった
ため、凄い会社だということは分かっていたつもり
だった。しかし、例えばどの会社よりも豪華だとい
われる社員食堂も、予想以上得驚いたし、胃袋を掴
まれた。

ここでは営業の方から日本語で Google 社につい
ての説明があったが、こんな会社だったのかとの気
づきと驚きがあった。まず、Google 社の mission
と method がユーザーのためであったが、「全ては
お客様のために。」というのはよく聞く話であるが、
実際に会社が大切にしている3つのポイントについ
て詳しく聞いていると、本当にユーザーのことを第
1に考えていることがよく分かった。その仕組みが
ハッキリと目に見えていた。本当にユーザーのこ
とを考えているからこそそのシステムが多くあるから沢
山のユーザーが集まるコンテンツが多くあるのだら
う。

もうひとつ驚いたことが、これからの Google 社
として狙うポイントがハッキリしていて、課題もす
でに認識しているところだった。その課題を詳しい
データ付きで話してくださったが、詳しい分析がで
きていて、それについての対策が既にされているこ
とが伝わってきて、とても大きなスケールでのビジ
ネス規模や対策をみせられて、本当に圧倒だった。

何から何まで驚きの連続で、改めて Google 社は
世界的な一流企業なのだと感じた。

3. おわりに

WASABI Creation のトン氏の話を通じて、シン
ガポールについてと、自分自身を高めるために自分
がどのような考え方にいたったか、そのツールとし
ての海外を教えて頂け、参考になった。

Google 社の話を通じては、世界の中心をトップ
ランナーとして走る会社の考えやスケールを実感で
きた。

私はプログラムの中のこの2つのアクティビティ
からだけでも、かなり多くのことを学んだ。そし
て、今までと考え方も変わった。今まで色々な経験
をしてきたが、今までの私だったらここまでだった
だろう。意識が変わっても行動せず感心し憧れて終
わっていた。そして忘れていただろう。これからは、
自らの在り方を探し、現状とのギャップを知り
そのギャップを埋める努力をするだろうと思う。

この ASEAN グローバルプログラムで学んだこ
と、変わったことから私がどのような姿になるのか
は私自身分からない。就職はもちろん不安だし、そ
こ以外の将来についての不安も山ほどある。しかし
今の私は、これまでよりも良い方向に変われると感
じている。この想いを、また、経験を忘れず向上し
続け、大学生活に、また、私の人生に活かしてい
きたい。